

議会報告会 記録(概要) 報告書 (総務1班)

開催日時	令和 8年 1月 13日 (火) 午後2時00分 ~ 2時45分		
開催場所	東原中学校		
班 員	村上 正明(班長)	斎藤 伸幸(副班長)	筒井 巖
学校・クラス・人数	東原中学校 3年1組 32名		
議会報告会の内容	1. 説明(議会報告会の趣旨、議会の役割) 2. グループワーク(テーマ:「あなたは市議会議員です。日光市の予算を使い、人口を増加させる取り組みを市に提案してください。」) 3. グループごとの発表 4. 議員からのまとめ(総評)		
生徒からの質疑・意見・課題など	報告会の中で出た解決方法など		
1班 ○店をいっぱい作る ○電車の本数を増やす ○住宅地を増やす	1班の意見について、住宅地の整備や店をたくさん誘致、公共交通を便利にするなどといった意見があり、1班について住環境整備が人口増加への支援と考えた。		
2班 ○日光の魅力を伝えるイベントを開催 ○子供が3人以上の家庭に50万円	2班の意見について、子供が3人以上の家庭に50万円支給といった意見があり、2班について子育て支援の充実と考えた。		
3班 ○学校をきれいにする ○外灯を増やす ○店や遊び場を増やす ○電車の本数を増やす	3班の意見について、学校をきれいにする事や遊び場を増やすとの意見に対し3班について子供たちの環境整備支援と考えた。		
4班 ○公共施設の整備 ○子育て環境の整備 ○魅力発信 ○働く場の環境の支援	4班の意見について、働く場の誘致や公共施設整備の意見があり、4班について労働環境(託児所)などや子育て環境の支援と考えた。		
5班 ○イベントの開催 ○商業施設の誘致 ○公共施設の充実 ○環境美化	5班の意見について、公共施設の充実や環境美化との意見や街をもっときれいにすれば人も集まるなど意見があり、5班について公共サービスの充実と考えた。		
6班 ○一次産業の支援 ○保育所の充実 ○観光事業の支援 ○環境の整備	6班について、第一次産業の農業などの支援など意見があり、日光市の農業従事者への支援が必要と考えた。		
【班としての総括・今後の方向性】			
3年1組の担当班において、様々な意見があり、中学生から見る人口減少を増加させる取組において、日光市の現状について「公共サービスの充実」「子供の遊び場の充実」「交通網の充実」など中学生からの視点で課題点を捉えていると思われる。一方で、子育て世代への支援についても、託児所や世帯への金銭支援といった子育て環境の整備や充実など、住みよい環境づくりなど身近で感じる親世代の苦勞を感じている部分だと考えられ、それに対する支援を考えていると思われる。また、日光市をもっとPRして知ってもらう必要性も考えの一つである。今回の班についての方向性については、人口を増加させるには、日光市独自の住環境の整備や働き場の確保や子育て支援をもっと拡大して、住みよい日光市を考えていく事が人口増加をさせる取組と考える。			

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和 8年 1月20日

班長 村上 正明

議会報告会 記録(概要) 報告書 (総務1班、2班)

開催日時	令和8年1月23日 (金) 午前10時45分 ~ 11時35分			
開催場所	今市中学校			
班 員	班 長 村上 正明	副班長 嶋田 正法	班 員 川島 憲郎	班 員 川村 寿利
学校・クラス・人数	今市中学校 3年1組 24名			
議会報告会の内容	1. 説明(議会報告会の趣旨、議会の役割) 2. グループワーク(テーマ:「あなたは市議会議員です。日光市の予算を使い、人口を増加させる取り組みを市に提案してください。」) 3. グループごとの発表 4. 議員からのまとめ(総評)			
	生徒からの質疑・意見・課題など		報告会の中で出た解決方法など	
1班	○商業施設を増やす ○大学や会社の誘致 ○日光市のアピール		1班の意見について、人口減少について大学や会社の誘致など若者増加に対する意見があり、市内への人口流失防止や若者増加に対する支援と考えた。	
2班	○ショッピングモールの増加 ○空き家などの利活用 ○医療機関への支援		2班の意見について、空き家などを活用して活性化や移住促進させたいと意見があり、日光市には人口減少と共に空き家も増加しており、教育施設など子供向け施設へ利活用など住環境や移住支援への支援と考えた。	
3班	○大型商業施設の誘致 ○子供支援カードの配布 ○企業誘致		3班の意見について、大企業の誘致されれば給料が高くなるといった意見や子供支援カード等の支援との意見があり、子育て・働く世代の支援と考えた。	
4班	○出産費用の補助 ○移住したら給付金を出す。 ○子供から大人までの楽しめる施設		4班の意見について、出産費や移住支援との意見や市民が楽しめる施設の誘致との意見があり、子育て世帯の現金給付や楽しく暮らせるまちづくりの支援と考えた。	
5班	○子供を育てやすい環境整備 ○移住支援 ○魅力あるまちづくり		5班の意見について、移住支援に土地を安くするといった意見や育児相談がしやすい窓口の設置といった意見があり育児に対する支援の充実は移住につながり、魅力あるまちづくりになると意見が出た。都市計画の支援等と考えた。	
<p>【班としての総括・今後の方向性】 3年1組の担当班において、様々な意見があり、中学生から見る人口を増加させる取組において、現在の日光市の現状について「空き家の増加」「子育て支援」「大型施設誘致」などが多かった。中学生ながら課題点を捉えていると思われる。一方で、大企業の誘致により給料の水準を上げるといった地域格差を中学生から見た視点も捉えられた。住みよい環境づくりなど子供支援カードの配布など身近で感じる親世代の苦勞を感じている部分だと考えられ、それに対する支援を考えていると思われる。また、移住促進のためには、日光市をもっと魅力度を上げて知ってもらう必要性も考えの一つである。今回の班についての方向性については、人口を増加させるには、子育て支援と日光市独自の移住支援や魅力度向上をもっと拡大して、住みよい日光市を考えていく事が人口増加をさせる取組と考える。</p>				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和8年1月23日

班長 村上 正明